

分野： (2) COPDに関する調査研究  
① COPD患者の自己管理と重症化予防

(2)-①

申請課題名：COPD身体活動性関与因子の詳細分析と目標値設定に基づく自己管理法の構築

調査研究代表者氏名：南方良章

1 評価項目						
5点:大変優れている(A判定) 4点:優れている(B判定) 3点:普通(C判定) 2点:やや劣っている(D判定) 1点:劣っている(E判定)						
	5点	4点	3点	2点	1点	平均点
(2) 研究成果目標の達成度	1人	3人	2人	0人	0人	3.83
(3) 研究計画の妥当性	1人	3人	2人	0人	0人	3.83
個別評価(第3評価):(2)(3)の平均						3.83
(6) 総合評価(第2評価)	1人	4人	1人	0人	0人	4.00
全体評価(第1評価):(2)(3)(6)の平均						3.89

2 記述評価
<ul style="list-style-type: none"><li>・背景因子となる治療・管理内容、重症度別にデータを解析し、より個別性のある適確な指導方法を提案できることを期待したい。</li><li>・基礎研究の項目について、健常者との相違やマウスとヒトとの関連性についての検討が不十分で、もっと明らかにすることが必要だと考えられる。</li><li>・目標値の設定を有効な自己管理法に繋げるためには、患者にモチベーションを持ってもらい、それを持続してもらうための取り組みが必要ではないか。</li><li>・歩数予測式を完成した。</li><li>・身体活動低下の機序解明をどのようにすすめるか、さらには、それはCOPD特異的か非特異的か。</li><li>・COPD患者における身体活動性の評価は極めて重要なテーマである。本研究は、多面的なアプローチで成果を達成しつつある。</li><li>・調査研究の予算と期間の制約を考慮すると多くの分担研究を同時に遂行することにはやや無理があるのではないかと考えられる。特に、調査研究と実験研究を両立させることは困難ではないか。</li></ul>